

6	バレーボール
ビジョン	チームで協力した活動ができる医療人になる
ゴール	バレーボール初心者がルール・フォーメーションを理解し試合ができるようになる。
理由	学部・学校を混ぜてチームを作ってバレーボールを行っているが、必ずしもコミュニケーションが図れているとはいえない。コミュニケーションを図りチームで協力できるようになるとよいと思われる。
知の成果物	スポーツとしてのバレーボールに臆することなく、積極的に参加できる。
身につく力(目的)	・コミュニケーション能力 ・情報収集能力 ・自己決定力 ・グループダイナミクス
学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム編成(学部・学校混合、経験者・初心者混合)</li> <li>・パス、レシーブの練習(経験者が初心者に教える)</li> <li>・サーブの練習(経験者が初心者に教える)</li> <li>・チーム対抗試合(ビデオ撮影)</li> <li>・試合の振り返り(チーム毎に分析、戦略)</li> <li>・バレーボールを上達させるための情報(プロのDVD等と比較)</li> <li>・チーム毎に練習(内容はチーム毎に考える)</li> <li>・チーム対抗試合(ビデオ撮影)</li> <li>・試合を振り返りレポートにまとめる(前回の試合と比較して改善された点を確認)</li> </ul>
活動の特徴	チームプレーを通じてコミュニケーション能力を養う
班主任名	今村誠司 医療科学部 臨床検査学科
<初回>活動場所	医学部1号館7F ビジュアルセンター 706
<通常>活動場所	サブグラウンド
<雨天時>活動場所	医学部1号館7F ビジュアルセンター 706